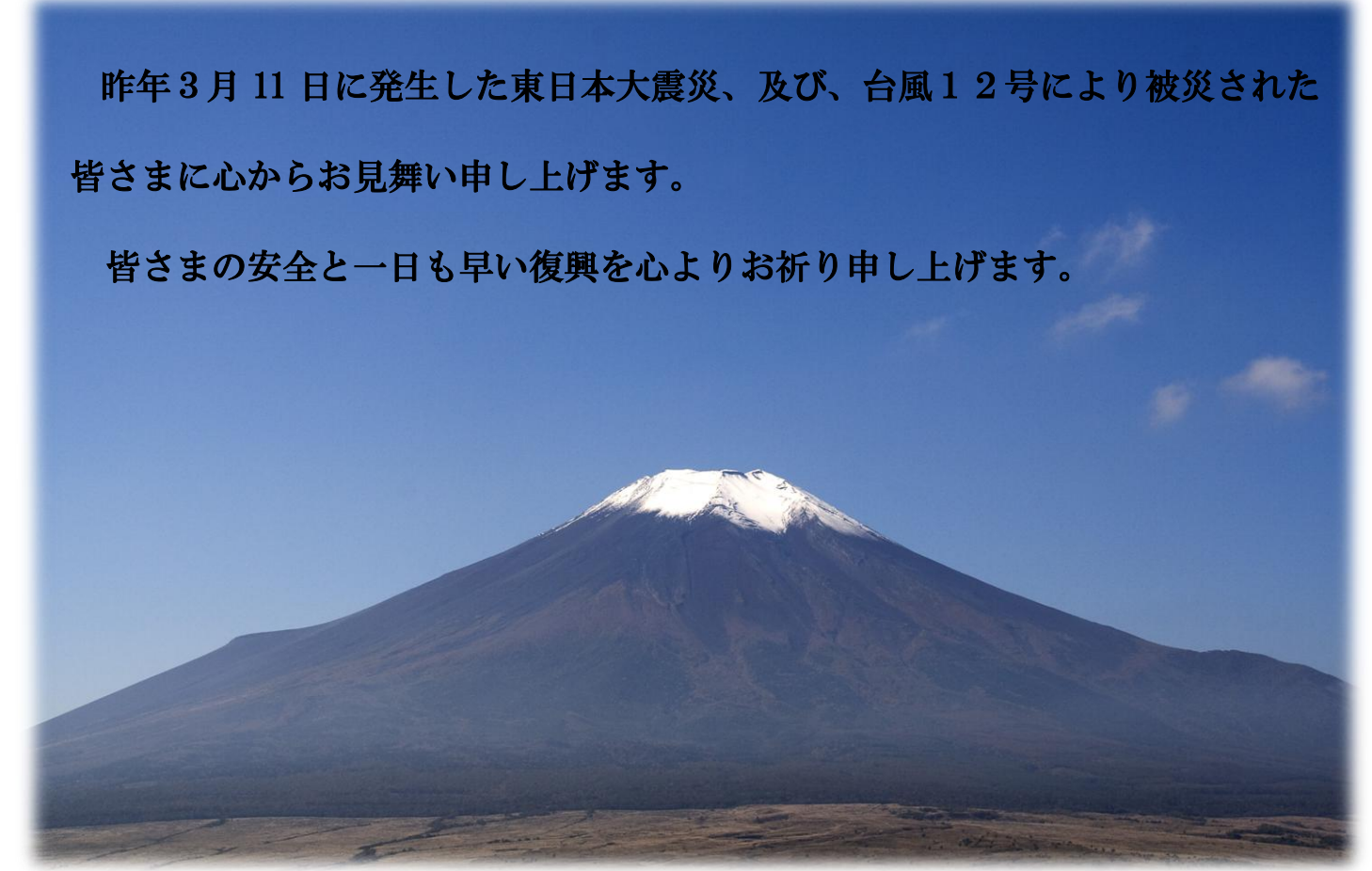




昨年3月11日に発生した東日本大震災、及び、台風12号により被災された

皆さまに心からお見舞い申し上げます。

皆さまの安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

— 理念 —

病める人とその家族が健康と心豊かな時間を取り戻せることを願います。

— 基本方針 —

- 24時間・365日いつでも救急対応できる体制の維持を目指します。
- 気軽に来院でき、質の高い医療と心のこもったサービスを提供できる病院づくりを目指します。
- 地域の医療機関と密接な連携を保ち、開かれた病院づくりを目指します。
- 自己研鑽に努め、人材の育成を図り、活力ある病院づくりをめざします。
- 法令遵守を徹底し、合理的、効率的な病院運営を目指します。
- 緩和ケアに病院全体で取り組み、切れ目のない全人的ケアの提供を目指します。

目次	➤ 新年のご挨拶 ➤ スポーツ整形の紹介 ➤ 部署紹介 ➤ クリスマス会 ➤ バレー部活動報告 ➤ 外来診察予定	
----	---	--

外来診察予定表

診療科		月	火	水	木	金	土
外科	新患+救急車	木村 寛	長池 幸樹	宮崎 亮	永渕 幸寿	仙波 垂水	荒牧 裕貴
		永渕 幸寿	荒牧 裕貴	仙波 垂水	宮崎 亮	木村 寛	長池 幸樹
	予約患者+再来	仙波 垂水	永渕 幸寿	長池 幸樹	荒牧 裕貴	永渕 幸寿	木村 寛
		宮崎 亮	仙波 垂水	荒牧 裕貴	木村 寛	荒牧 裕貴	永渕 幸寿
		長池 幸樹	宮崎 亮	木村 寛	仙波 垂水	宮崎 亮	長池 幸樹
	新患+再来	武末 昌治	武末 昌治	武末 昌治		武末 昌治	武末 昌治
		※午後の外来担当医は、手術等の都合で当日決定いたします。					
							城戸 英希
整形外科		岩永 貴行 中村 和史	山野 耕一郎	岩永 貴行	岩永 貴行 中村 和史	山野 耕一郎	
消化器内科			西条 寛平		西条 寛平	西条 寛平	西条 寛平
専門外来	脳神経外科		呼吸器内科	糖尿病	乳腺・甲状腺	循環器内科	
	13:30～		13:00～	14:00～	14:00～	13:00～	
	吉本 幸司		関 七重	森本 昌子	小川 尚洋	西坂 麻里	
				ホスピス外来 要予約 平川 栄二	ホスピス外来 要予約 平川 栄二		

※専門外来は、初診の場合には必ず電話をお入れ下さい。

※午前の外来受付は11:30までです。

交通のご案内

『地下鉄』
千代県庁口駅
1番出口より徒歩3分

『西鉄バス』
千代町
徒歩1分

〔救急告示・開放型病院・緩和ケア〕病院機能評価認定
社会医療法人社団至誠会

木村病院

365日
24時間
救急対応

〇診療時間

月曜～土曜
8:30～12:00
13:00～17:30

〇診療科目

外科

消化器外科

肝胆脾外科

大腸肛門外科

脳神経外科

救急科

リハビリテーション科

消化器内科

麻酔科

整形外科

緩和ケア内科

福岡市博多区千代2-13-19 TEL:092-641-1966

Eメール: info@kimura-hosp.or.jp

ホームページ: http://www.kimura-hosp.or.jp/

急患・救急診療の場合は
時間外・日曜・祝日も
受付致します。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

木村病院は昨年50周年を迎えました。今後も新たな気持ちで皆様に質の高い医療を提供していくよう努めて参ります。そして私どもやすらぎ編集担当者一同、これからはもっと木村病院を身近に感じて頂けるよう皆様とコミュニケーションの場として幅広い情報をお伝えできればと思っております。

本年も木村病院、広報誌やすらぎをよろしくお願いします。



やすらぎ病棟



12月16日 やすらぎ病棟の「クリスマス会」が開催されました。今年も、会場の飾りつけを工夫し、平川先生のサンタクロースや看護師のトナカイ・ツリーの着ぐるみなど思考を凝らし、楽しいクリスマスを演出しました。

スタッフの出し物は、ひと裁ち折り紙（折り紙を折ってはさみでか所切る）で、モミの木や星やハートを作りました。理事長先生の飛び入り参加もあり患者様やご家族の方に喜んで頂きました。また、トーンチャイムという楽器で、「星に願いを」と「アメージング・グレイス」を演奏し、練習不足ながら、優しい音色に患者さん御家族から多くの拍手を頂きました。

あっという間の1時間でしたが、患者様を囲み御家族やボランティア・スタッフみんなで楽しいひとときでした



バレー部の活動報告



平成23年10月23日に、福岡市医師会主催のバレーボール大会が九電体育館にて行われました。

多くの病院が参加してきており、木村病院からも11名の選手と3名の監督・コーチ陣で参加しました。前大会での反省点（なかなかポジションを固定できなかったため、それぞれの動きが把握できてなかったということ）をふまえ、今回は早い時期に選手とポジションを固定して練習しました。声を出して、拾って、つないで、応援してと、けっこうな盛り上がりをみせました。

1試合目は溝口整形外科病院チーム。序盤はサーブが好調で、ナイスレシーブも随所にみられ、自分たちのバレーができていました。しかし、徐々に相手にペースを奪われてしまいシーソーゲームの末、セット数1-2で敗れてしまいました。2試合目は白十字病院チーム。この試合も接戦でしたが0-2で敗れてしまいました。接戦になった試合で、自分たちのミスが目立った事が大きな敗因となりました。

木村 寛理事長をはじめ、多くの方々に応援に来ていただき、たくさんの声援と、「がんばれ」と声をかけてもらえたことが本当に嬉しく、大きな力になったと思います。本当にありがとうございました。

試合に勝てず、みんなで喜びを分かち合うことができなかったことが悔しくて、残念でなりません。試合後は反省会でそれぞれ個人の反省点、チームとしての反省点を話し合いました。この大会での悔しさを胸に少しでも上達できるよう、11月から練習を再開しています。次は春の大会です。

次回は良い報告ができればと思っています。 リハビリテーション科：田中 美里・井上 真衣



～新年のご挨拶～



新年明けましておめでとう御座います。年頭に当たり皆様方の御健康と御清福を心よりお祈り申し上げます。

わたしたち木村病院は昨年3月に開院50周年の記念日を迎え、次の時代へ向けての新たなスタートを切りました。実際には3月末からの電子カルテへの移行、4月からのDPC（入院の包括支払制度）への参入と、大きな転換の時期となりました。導入当初においてはこれらのシステムの変更が必ずしも直接皆様へのサービスにつながったとは言えず、かえって御迷惑をおかけしたこともあったと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。しかしながら慣れていくに従い、情報の共有化、医療の均質化と云う点でプラスの側面が明らかになってきていることも事実です。平成24年度は原点に戻り、いかに地域の皆様のお役に立てるかを念頭に置き、職員一丸となって精進してまいる所存ですので、よろしくお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

最後に、まだまだ不自由な暮らしを強いられている被災地の皆様に、一日でも早く安らかな生活が訪れることをお祈りします。本年が良い年でありますように。

理事長 木村 寛

新年明けましておめでとうございます。旧年中は当院を御利用頂き誠にありがとうございました。昨年はいろいろな事があり大変な一年でした。大地震、地震に伴う津波による大災害、津波による原子力発電所のメルトダウンとドミノ倒しのような悪夢が東日本を襲い、多くの貴重な命が失われました。この大災害に対し私達ができた事は義援金や援助物資を送ることしかなく大変歯がゆい思いを致しました。

当院の昨年1年間を振り返ると、まず3月に開院50周年を迎えました。木村豊前理事長が昭和36年に当地で開業して以来、半世紀かかって121床のりっぱな病院となることができました。50年という長い間当地の皆様から御支援を頂いた結果、現在の当院があると感謝しております。

4月からはDPC、電子カルテの導入と今後当院が一般急性期病院として生き残るための布石を打たしてもらいました。そのため入院期間が短縮したり、入院中の余分な検査ができなかったりと何かと御迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。長期に入院を希望される方は、当院の連携室の機能を十分活用しながら、他の療養型病院への転院、老健施設への入所の手配等の便宜をできるだけ図りたいと思います。そのためには皆様のご協力とDPCがどういうものかとの御理解をいただく事が必要です。今後入院される時はDPCとは何か御遠慮なくお尋ね下さい。

今年当院はいよいよ次の50年に向けての第1歩を踏み出します。もっとよりよい療養環境を皆様に提供できる様な次の50年を見据えた新病棟の建設をまず目標としたいと考えております。そのためには今以上の皆様のご支援が必要です。今年も一層のご愛顧のほどよろしくお願い致します。最後になりましたが本年が皆様方にとって幸多き一年になります事を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

院長 永渕 幸寿





中村先生は、スポーツによる様々な外傷・障害を主に担当しています。当院ではMRI検査、スポーツ復帰に向けたリハビリテーション、関節鏡下手術が可能です。

トップアスリートからスポーツ愛好家の方まで、幅広く対応致します。

＜スポーツに関連した主な疾患＞



1、肩関節

a) 投球障害肩

投球動作で肩が痛い、肩が抜けそうになる、ひっかかる感じがある方はご相談下さい。
身体所見やMRI検査により原因をはっきりさせ、それに合わせた治療を行っています。



b) リトルリーグショルダー

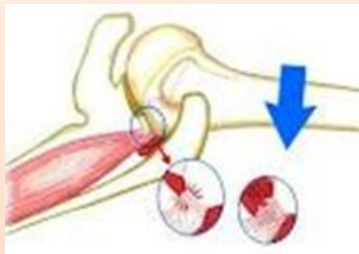
腕の成長線がボールの投げすぎにより傷んでしまうものです。小学校高学年頃に起きやすく、思い切りボールを投げると腕が痛いという方はご相談ください。

c) 反復性肩関節脱臼

肩関節の脱臼後、不安定感が持続する方、スポーツ活動や日常生活に支障をきたしている方はご相談ください。

d) 腱板断裂

転んで手を突いてから、肩や腕の痛みがとれない、手を挙げたり、物を取ろうとすると、肩や腕が痛くて力が抜ける、痛みで夜間目が覚める、などの症状でお困りの方はご相談ください。
痛みが長引くときは、診察、MRI検査、超音波検査（エコー）で、痛みの原因を明らかにすることが大切になります。



*上記疾患に対しては、日常生活指導、セルフコンディショニング指導、リハビリテーション等の治療を行っています。

また、手術が必要となる場合、当院では主に関節鏡視下手術を行います。

次回は、肘関節と膝関節のご紹介を予定しています。



関節鏡視下手術 機器



MRI 肩関節画像



2 階病棟スタッフの紹介



☆病棟の機能的役割☆

2階病棟は病床数32床の一般外科病棟で、大きな手術を受けられた患者様や、重篤な症状で入院を必要とされている患者様を主に看護させていただいている病棟です。

人工呼吸器の管理を必要とする呼吸器疾患の患者様や緩和ケア病棟への転科待ちの患者様も入院されています。

☆スタッフ紹介☆

2階病棟には、27名の看護師と2名の看護助手が配属され、40代のベテラン看護師から、20代の新人看護師まで勤務しており、日々スペシャリストとしての技術を提供し、さらに後輩を育てるための指導、教育にも力を入れています。

当院の基本方針にもある「24時間、365日いつでも救急対応できる体制の維持」を念頭に置き、プロ意識を持って毎日、自己研鑽に努めています。

☆新人紹介☆



山口 杏奈
福岡市出身



山川 珠記
福岡市出身

最新最善な
看護技術の
提供
迅速・確実・
効率的に

患者様の
療養上のお世話
安全・快適に

患者様
と共に

入院環境の
整備
感染予防・
プライバシー
の保護

安全な医療の
提供
安全対策・
個人情報保護



田中 沙智美
北九州市出身



松尾 咲
佐賀県出身



鬼塚 緑
筑紫野市出身